

名古屋・静岡地区合同勉強会 R4 年度 11 月 定例会議事録

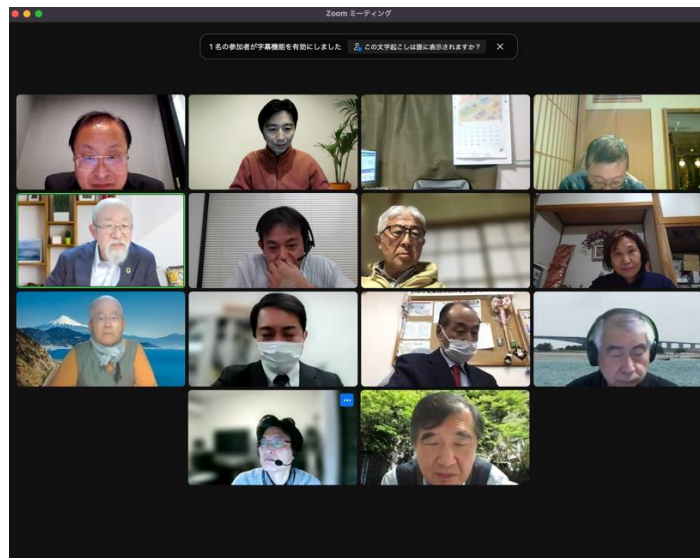
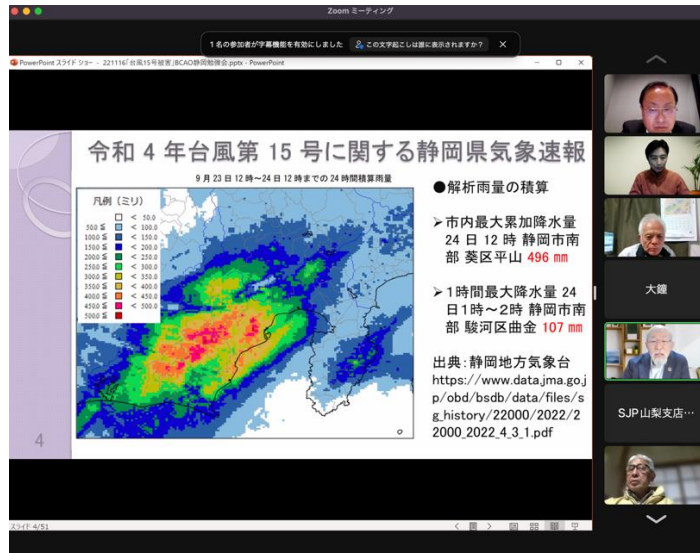
1.日 時：2022 年 11 月 16 日（水）18 時 00 分～19 時 00 分

2.場 所：各受講者端末前(テレビ会議システム「Zoom」を活用)

3.出席者：西川智、高橋孝一、大鐘祥太郎、鹿志村聡士、赤堀三代治、宮門良介、神谷旭、大竹秀昇、高橋義久、石井洋之、加藤恒雄、浜田祐介、池谷千尋、中村譲治、山下ヒロコ、石川佳代子、松下哲明（敬称略・順不同）

4.議事内容：

- (1) 令和 4 年台風 15 号の被災と行政対応から見る BCP の教訓 石井洋之様
台風 15 号についてハザードマップ等（DIG）を用いながら被害状況や BCP 目線からの教訓を紹介いただいた。



(2) 質疑応答、意見交換（一部のみ記載）

- ・ 山林の荒廃、宅地の乱開発などにより、被害が増加している可能性がある。被害情報を取得しない人も多く、防災アプリを使うべきでないか。
→立地、構造で被害が変わる。地図の活用が重要である。
→自助として自ら情報を収集し、対策を行うべきである。
- ・ ハザードマップを活用し、危険箇所であるという認識を皆が持つべきである。
- ・ ハザードマップを超える浸水となった。ハザードマップの前提が計画規模の洪水であったように見える。ハザードマップの前提をしっかりと確認すべきである。

5.次回開催予定：

日 時：12月開催で調整中

場 所：Zoom 予定

以 上